

KOBE HPC サマースクール（初級）開催報告

2018年8月6日（月）～2018年8月10日（金）、神戸大学計算科学教育センター、及び兵庫県立大学にて、神戸大学計算科学教育センター、兵庫県立大学大学院シミュレーション学研究所、理化学研究所計算科学研究センターの共催による「KOBE HPC サマースクール（初級）」を開催しました。

本スクールは、大学や研究機関等に所属する学生・若手研究者を対象とし、スーパーコンピュータを駆使した大規模な計算機シミュレーションを実施し、新しい計算科学の世界を開拓したいと考えている若手研究者、企業の研究者を育成することを目的にしたシミュレーションスクールです。9回目の開催となる今回は受講対象者やスクールの目的をより明確にするため、スクール名を「サマースクール（初級）」と変更し、36名の受講生により、様々な並列計算プログラミング手法の基礎に関する講義、実習を行いました。



初日は、オリエンテーション、理化学研究所計算科学研究センターのスーパーコンピュータ「京」の見学後、安田修悟先生（兵庫県立大学大学院シミュレーション学研究所・准教授）の講義がスタートしました。また、西浦泰介主任技術研究員（海洋研究開発機構数理科学・先端技術研究分野）による「粒子系シミュレーションの高速化と地盤力学問題への応用」と題する講演も行いました。

2日目からは、安田修悟先生、横川三津夫先生（神戸大学計算科学教育センター・教授）、八木学特別研究員（理化学研究所計算科学研究センター）の3名の講師により、計算機サーバーの使い方、計算の高速化手法、ハイブリッド並列計算（スレッド並列+プロセス並列）の他、GPU アクセラレータを利用する



OpenACC プログラミングまで多岐にわたる講義を行い、兵庫県立大学のスパコンを利用した演習も行いました。連日、朝から夕方までのハードな講義スケジュールでしたが、受講者の皆さんは自習時間も講師やTAへ質問をしながら、熱心に取り組んでいました。

全講義が終了した最終日には、修了証書授与式、集合写真撮影を行い、スクールを無事終了することが出来ました。

終了後のアンケートでは、「初学者が並列計算の世界観を理解するには最適でとても良い勉強になった」、「授業で学んだ実習は実際のプログラミングで役に立つ非常に有用なものでした」などのコメントと共に、「同様のスクールの案内を希望する」、「こうした講習会がこれからも多く企画・開催されると有難い」といった要望もいただきました。

2019年3月には、サマースクールのアドバンス版としてスプリングスクールを開催する予定です。詳細が決まり次第、Web ページなどでお知らせいたします。是非皆様のご参加をお待ちしております。

